

# 米づくり情報 第8号

令和5年8月21日

平坦部(佐賀県農業試験研究センター)

## 本年産水稻の生育状況(8月21日)

移植日	項 目 品種	年次	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉齢 L	葉色 SPAD	概況 (平年と比較して)
6月19日	夢しずく	本年 平年 平年比(差)	出穂期:8月17日 出穂期:8月17日 ±0				[気象] 8月14日~8月20日まで ◆平均気温…やや高い(平年差+0.9℃) ◆日照時間…やや短い(平年比98%) ◆降水量…少ない(平年比42%) [生育] ◆草丈 「ヒノヒカリ」は低く、「さがびより」は平年並み、「ヒヨクモチ」はやや高い。 ◆茎数 「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」は多く、「さがびより」はやや多い。 ◆葉齢
	ヒノヒカリ	本年 平年 平年比(差)	89.0 95.8 93	501 447 112	14.1 14.1 ±0	36.9 31.3 +5.6	
6月20日	さがびより	本年 平年 平年比(差)	85.6 86.7 99	464 446 104	14.7 14.5 +0.2	38.2 36.2 +2.0	「夢しずく」の主稈葉数は平年よりやや多かった(主稈葉数:本年14.1、平年13.4)、葉齢は「ヒノヒカリ」「さがびより」で平年並み、「ヒヨクモチ」でやや進んでいる。 葉耳間長は「ヒノヒカリ」で+5.4cm、「さがびより」で-6.4cmとなっている。 ◆葉色(SPAD値) 「ヒノヒカリ」「さがびより」は高い。「ヒヨクモチ」はやや高い。 ◆幼穂長 「ヒヨクモチ」8/22時点 22.8mm
	ヒヨクモチ	本年 平年 平年比(差)	77.3 75.3 103	712 533 134	15.4 14.8 +0.6	36.8 35.6 +1.2	
留意点	○ 水管理は、穂肥施用時の湛水管理を除き、引き続き間断灌水を行う。 ○ トビイロウンカ、コブノメイガ、いもち病、紋枯れ病の発生に注意し、的確な防除を行う。						

- 注1)「夢しずく」、「ヒノヒカリ」は、6月19日移植の稚苗(播種期5/25、播種量 湿籾 180g/箱)  
 「さがびより」、「ヒヨクモチ」は、6月20日移植の稚苗(播種期5/26 播種量 湿籾 180g/箱)
- 2)栽植密度: 「夢しずく」は、条間30cm×株間17cm, 19.6株/m<sup>2</sup>(65株/坪)  
 「さがびより」は、条間30cm×株間20cm, 16.7株/m<sup>2</sup>(55株/坪)  
 「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」は、条間30cm×株間15cm, 22.2株/m<sup>2</sup>(73株/坪)
- 3)栽培管理: 施肥法は県基準に準じ、防除他はセンターの慣行による。
- 4)概況欄の【草丈】、【茎数】の平年値との比較については、以下のように定義している。  
 低い(少ない): 94以下、やや低い(やや少ない): 95~98、平年並み: 99~101、  
 やや高い(やや多い): 102~105、高い(多い): 106以上。
- 5)平年値は、収量について過去の全試験年次の標準偏差(σ)を算出し、±1σの外側にある年次を除く年次の過去データから算出した8月21日の数値を記載。ただし、「ヒノヒカリ」の平年値は過去データから算出した数値から求めた近似式を用いて算出したもの。

【窒素の時期別施用量(N kg/10a)】

品 種	基 肥	中 追	穂肥 I	穂肥 II	実 肥
夢しずく	3.0	0.0	2.0 (7 月 29 日)	—	—
ヒノヒカリ	4.0	2.0 (7 月 8 日)	3.0 (8 月 7 日)	—	—
さがびより	5.0	0.0	2.0 (8 月 14 日)	—	—
ヒヨクモチ	4.0	3.0 (7 月 13 日)	4.0 (8 月 15 日)	1.5	1.5

※括弧内の日付は農試作況圃場における施用日

【農試作況圃場における幼穂形成始期と出穂期】

品 種	幼穂形成始期(主茎幼穂長 1mm)		出穂期	
	本年(平年差)	平年	本年(平年差)	平年
夢しずく	7 月 28 日 (±0)	7 月 28 日	8 月 17 日(±0)	8 月 17 日
ヒノヒカリ	8 月 7 日 (+2)	8 月 5 日	未	8 月 27 日
さがびより	8 月 11 日 (+2)	8 月 9 日	未	9 月 1 日
ヒヨクモチ	8 月 15 日 (+1)	8 月 14 日	未	9 月 6 日

